

第3回（2016年）The 3rd Symposium for Women Researchers



日時	2016年11月6日(日)	10:30~15:00
会場	東京都立戸山高等学校	
時程	10:30~	受付
	11:00	開会式
	11:10~12:00	ポスターセッション1(大学生・大学院生)
	12:00~12:40	キャリア・ラウンドテーブルセッション (ランチタイム)
	12:40~14:00	ポスターセッション2(小・中・高校生)
	14:00~14:50	特別講演
	「やってみたい!!」をひたむきに-金星探査機あかつき軌道を求めて」 宇宙航空研究開発機構(JAXA)主任研究員 廣瀬史子氏	
	14:50	表彰式・閉会式



参加者は講評者 15 名、引率・見学 22 名を含め合計 185 名に上った。第 1 部として、6 大学から大学生・大学院生・研究者 31 名による 29 件のポスターセッション、続いてランチタイムを使って、16 のテーブルを囲み交流を図った。

第 2 部は、10 校 20 件の 44 名、そして本校から 44 件 53 名のポスターセッションとなった。また小学生の研究も掲示された。今年度は都内の学校以外の新潟県、石川県、神奈川県、千葉県の中学校・高校から発表があった。さらにポスター掲示のみであるがデンマークの女子高校生から 1 件(「The many qualities of chocolate」)寄せられるなど、広域に渡る参加が得られた。

その後、JAXA 廣瀬史子氏による特別講演では、「中学生のときに NASA へ手紙を送ったこと」「初めてのアメリカ体験」から「チームで取り組む仕事の姿勢」「金星の最新情報」まで、高校生だけでなく大人にとっても心奪われる、チャレンジ一杯の人生を伺うことができた。ホットでスリリングな内容に、会場から微に入り細に入った質問があがった。丁寧に対応されている姿に、すっかりそのお人柄に魅せられ、目標を高くもつことを宣言する者も現れた。



参加校：新潟県立新発田高等学校、石川県立七尾高等学校、千葉県立佐倉高等学校、市川学園高等学校
東京都立科学技術高等学校、東京都立多摩科学技術高等学校、文京学院大学女子高等学校、
東京学芸大学附属国際中等教育学校、横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校、
Denmark Viby Gymnasium(掲示のみ)
参加大学：成蹊大学、東京大学、東京工業大学、日本獣医生命科学大学、早稲田大学、
総合研究大学院大学、学習院大学